

個別施設計画

策定年月 H31.1

施設名	農業研究所(高冷地研究室)		所在地	真庭市蒜山東茅部1188		
敷地面積	1,602.70 m ²		棟数	5 棟 (計画記載対象 1 棟)		
延床面積	578.82 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	県中北部の高冷地に適する野菜、花、果樹の品種育成や有望品種の選定と、安定生産のための栽培技術の開発を行うために設置					
【想定される自然災害】						
予想震度 <u>5弱</u> 津波 <u>—</u> 浸水 <u>—</u>						
建築規制	都市計画区域外					
エネルギー使用量 (2017年度)	電気 23,974 kwh	ガス 9 m ³	水道 168 m ³	燃料 (灯油) 991 0		
管理上の特記事項	敷地内未利用地なし、敷地内貸付地なし					

1 施設内建物の概況

名称	研修館				
築年(西暦)	1977年				
構造	鉄骨造 1階				
建築面積	240.61 m ²				
延床面積	240.61 m ²				
主要な用途 (室名等)	執務室、実験室、研修室 書庫、更衣室、給湯室				
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 給排水設備				
利用状況	高				
耐震性 ※1	無				
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—			
	中性化 ※3	—			
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適			
	地盤沈下 ※5	適			
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし				

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

- ・耐震改修と長寿命化工事を行い、使用を継続する。また、省エネ設備への更新を進める。
- ・空調等の設備は劣化状況を見ながら定期的に改修又は更新する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
研修館	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震改修を実施するとともに、屋根及び外壁の修繕を行い長寿命化を図る。 また、窓と玄関の断熱施工、照明のLED化により光熱コストの低減を図る。 ・空調及び給排水設備は劣化状況を見ながら定期的に改修又は更新する。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

- 1 長寿命化工事等
屋根及び外壁の改修、窓と玄関及び照明器具を省エネ設備に更新
- 2 耐震改修
2019年 実施設計
2022年～2024年 施工
- 3 設備更新
劣化状況を見ながら定期的に改修又は更新

(単位: 億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
研修館	耐震改修						施工 外壁屋根 玄関窓 照明機器				
	耐震改修とあわせて行う長寿命化等			設計							
	設備等の定期更新(修繕・改修を含む)									空調設備	給排水設備

4. 概算費用

--

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R3.1	研修館の耐震改修及び耐震改修とあわせて行う長寿命化等(外壁・屋根・玄関・窓等)のスケジュール変更